

第 66 回中国四国産科婦人科学会評議員会議事録

評議員会： 2013 年 9 月 22 日（日）

於： ザ クラウンパレス新阪急高知 4 階 フローラ

出席者： 会長 深谷 孝夫（高知）

理事 苛原 稔（徳島） 工藤 美樹（広島） 下屋浩一郎（岡山）

杉野 法広（山口） 那波 明宏（愛媛） 秦 利之（香川）

原田 省（鳥取） 平松 祐司（岡山）

監事 濱脇 弘暉（高知）

幹事 前田 長正（高知） 鎌田 泰彦（岡山）

評議員 伊藤 隆志（鳥取） 岩部 富夫（鳥取） 丹羽 国泰（岡山）

上田 克憲（広島） 勝部 泰裕（広島） 水之江知哉（広島）

沼 文隆（山口） 三谷 弘（徳島） 安井 敏之（徳島）

塩田 敦子（香川） 田中 宏和（香川） 乾 泰延（高知）

（欠席者：宮崎 康二，奥田 博之，井庭 信幸，小村 明弘，青木 昭和，
澤田 康治，林 伸旨，山崎 善久，江尻 孝平，岡本 悦治，
重政 和志，内藤 博之，藤原 久也，吉田 信隆，縄田 修吾，
藤野 俊夫，鎌田 正晴，樋口 和彦，池谷 東彦，越智 博，
横山 幹文）

会長挨拶：

深谷会長より，評議員会開催の挨拶があった。

報告事項：

- 1) 鎌田幹事より平成 24 年度会員数および会費納入状況，平成 25 年度会費納入状況，会誌発行状況について報告があった。
- 2) 深谷会長より，今年度の学会賞（八木賞）は松崎 利也先生（徳島大学）の「Fasting reduces the kiss1 mRNA levels in the caudal hypothalamus of gonadally intact adult female rats. (Endocrine Journal に掲載)」に学術委員会で決定したことが報告された。
- 3) 深谷会長より，平成 26 年度臨床公募研究への応募は，平松祐司先生（岡山大学）の「子宮筋腫合併妊娠に関する臨床的研究」の 1 件であり，学術委員会にて慎重に審議の上，承認されたことが報告された。後方視的研究であったが，是非とも前方視的研究としていただきたいとの学術委員会案に平松先生より快諾いただいたこと，2 年後に改めて審議する旨が報告された。

平松理事より、晩婚化により筋腫合併妊娠が増加しているが、これまでに本邦での大規模な研究はなかった。具体的には、妊娠合併症、筋腫の大きさ・部位など。頻度については、前方視的研究の方がよいであろうとのことになった。コントロールは岡山大学関連病院で行うが、症例に関しては中四国の病院では是非ご協力いただきたいとの要請があった。

- 4) その他の報告事項は特になし。

協議事項：

1) 平成 24 年度決算

鎌田幹事より、まず昨年度（平成 23 年度）会計の支出の部が本来の 6 月 30 日締めでなく、平成 24 年 8 月 27 日締めとなったことのお詫びがあった。そして本年度は、通常通り平成 24 年 7 月 1 日より平成 25 年 6 月 30 日での会計報告となっていること。また平成 24 年 7 月 1 日から平成 24 年 8 月 27 日の間の会計については、平成 23 年度会計報告後に発生した事案についてのみ計上している点につき報告があった。

深谷会長より、繰越金は今まではどんどん増えていたのが減少した件について、学会補助金の増加や学会誌への投稿数の増加のため支出が増加したためであり、学会活動が活発になっているためと説明された。

続いて、濱脇監事より監査報告があり、全会一致で承認された。

2) 平成 25 年度予算案

鎌田幹事より報告があった。

深谷会長より、「Plus One 産婦人科セミナー」への援助費として 150 万を計上することが昨日の理事会で決定したことが報告された。また昨年の総会で承認された、学術基金への 2000 万円の入金と合わせて大きな出費のため予備費が減少したことが追加された。

平松理事より、「Plus One 産婦人科セミナー」に関する説明があった。日産婦の未来ビジョン委員長を現在しており、会員数を増やすのがミッションであるが、現在再び入局者数が減少傾向にある。各研修施設で昨年 + 1 以上の人を入れてほしいという気持ちでプロジェクト Plus One を行っており、それに対して具体的には 5 本の矢を放っており、

1. ALSO, 超音波セミナーなどを中心とした「Plus One 産婦人科セミナー」を開始している。
2. 2013/10/4 に「全国医局長 + 1 会議」を行う。勧誘責任者も参加し、全国の医局から入局の多い 3 校がノウハウにつき発表する。
3. 学生・初期研修医対象のセッションを日産婦学術集会中に行う。
4. 広報誌のアネティスの中 4 頁を増刷し、そこに産婦人科学会からの情報を載せるようにして、ポスターとともに各研修施設、診療所に配布する。

5. 産婦人科の新しいプロモーションサイトを立ち上げ、産婦人科のブランディングと敷居を低くし、産婦人科はカッコいい、なりたい職業の No1 思わせるようなものにしたい。

さっそく来年度、岡山で 30 名、各大学から 3 名程度の参加でセミナーを行う。250 万円ほど費用がかかるが、日産婦から最大 100 万円の援助が出る予定。したがって 25 年度予算に、「Plus One 産婦人科セミナー」として 150 万円を計上することを昨日の理事会で了承いただいたと報告あり。

深谷会長より、学術誌発刊、学会開催がこれまでメインの本学会業務であったが、今後はそれに勧誘活動が加わった。とくにご意見無ければ、このような趣旨でしていきたいのをお願いしたいと発言あり。

意見も特になく、全会一致で承認された。

3) 次期および次々期開催の件

次々期（第 68 回）開催地（平成 27 年）は岡山地方部会（川崎医科大学）が担当（会長：下屋浩一郎理事）することが承認された。

杉野理事から挨拶あり、次期開催は平成 26 年 9 月 13、14 日に宇部市の全日空クラウンプラザホテルにて開催予定であることが報告された。

下屋理事より、まだ何も決めていないが、平成 27 年の第 3 土日は 5 連休になるため、日時についてはまた考えさせていただきたいと報告された。

4) 役員交代について

各役員の改選については別紙の如く改選された。

5) 名誉会員推戴について

深谷会長より、鳥越 正先生、林 要先生の御逝去につき報告があった。

岡山県より奥田博之先生、丹羽国泰先生の推薦があり、昨日の理事会で協議の結果、推戴された。北尾 学 前島根大教授についても名誉会員に推戴し、書類を後日事務局に提出することが昨日の理事会で承認された旨が説明され、3 名の名誉会員推戴が全会一致で決定された。

那波理事より、伊藤 前愛媛大教授についてはどうでしょうかとお伺いあり。深谷会長、平松理事よりご本人のご意向を確認の上で推薦状を提出いただきたいとの返答あり。

6) プロジェクト 「Plus One 産婦人科セミナー」について

深谷会長より、先ほどの平松理事からの説明の通りで、予算に計上し承認いただいたと説明あり。

7) 工藤理事より、第 69 回日本産科婦人科学会学術集会長に立候補した旨の報告があった。開催地は広島市を考えている。中四国の中堅医師の売り出し、アジア諸国との関係を深めたいと思う。来年 2 月の理事会で決定しますが、ご協力をいただきたいのでお願いしますと

の要請あり.

深谷会長より, 協力しますのでファイトで頑張ってくださいとコメントあり.

深谷会長より, 閉会の辞.

以上